



ぎかいだより

懸かけはし橋



「百石漁港の夜明け」

写真提供：おいらせ町文化協会 百石写撮会 西館 東城 氏

- ◆ 第1回定例会、予算特別委員会・・・・・・・・・・ 2～ 6ページ
- ◆ 一般質問（5名）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～11ページ
- ◆ 産業民生常任委員会調査活動報告・・・・・・・・・・ 12ページ

「町民目線の行政運営」の集大成に向けて

初日におこなわれた町長の所信表明演説では、町民の視点に立った施策を迅速かつ的確に推進していくために不退転の決意でのぞむことを表明しました。



所信表明を述べる
成田町長

平成25年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の会期で開かれ、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図る関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の制定、平成25年度一般会計及び特別会計の当初予算など、報告2件、諮問1件、議案38件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。
一般質問には、5人の議員が登壇し、町当局の考えを質しました。



議事を進行する
佐々木議長

町政推進5本の柱

町の現状と環境を見極め、町民目線の姿勢で着実に実行

1 住民と行政の 一体化による まちづくり

◆町政への満足度を高め、町民一人ひとりがまちづくりに積極的に関わることできる環境づくり
◆町政のあらゆる分野への町民参画機会の充実を図り、将来世代にわたり持続可能な行財政運営に取り組み

2 町民のための 施策・政策を推進

◆計画的な生活環境基盤を整備
◆医療、保健、福祉、子ども支援策の充実
◆企業誘致の推進、雇用対策の充実、中小企業支援や販の創出などの商工業振興策
◆明るく元気な農業を推進

3 夢と希望を持てる 政策を立案、実行

◆教育環境の整備、生涯にわたるスポーツを楽しめる環境づくり、生涯学習の充実と老若男女の共同参画によるまちづくりを進め、多彩な活動を実現し、多様な価値観をはぐくむことにより、**「心」の豊かさを感じる**ことができるまちを目指す。

4 勇気ある改革、改善の推進

◆事務事業の効率化・行政経費の削減など行財政改革に努めるとともに、「量的削減」から「経営的視点」に移行し、「人」を基点として行政経営改革に取り組む。
◆職員的能力が十分に発揮できる職場づくりに努め、「自ら考え、調査し、行動する職員」を育成するシステムを構築

5 公平公正な町政の推進

◆旧町の帰属意識を解消し、おいらせ町への融合を図るために、公平公正な町政を進める。

平成25年度主要施策の概要

おいらせ町総合計画の基本方針に沿った施策

基本方針1

「住民と議会・行政がともに考え、行動するまち」

まちづくりの指針となる「おいらせ町総合計画」の後期基本計画（平成26～30年）を策定

基本方針2

「自然と利便性が調和するまち」

☆第一次おいらせ町国土利用計画に基づく開発と保全の利活用のバランスを保ちつつ、生産性の高い町土利用を実現
☆住宅用地開発など各種開発計画が適正に行われるよう埋蔵文化財発掘調査事業を進める

基本方針3

「心豊かな人育と伝統・文化が香るまち」

☆木ノ下小学校の屋外環境整備事業
☆下田小学校の屋根・外壁等改修事業
☆国史跡指定阿光坊古墳群の史跡公園整備
☆いちようマラソンの実施
☆町体育協会への補助金交付

基本方針4

「快適で安心して暮らすことができるまち」

☆津波避難タワー・避難路の整備等のハード事業
☆避難計画の定着化・防災教育の推進、自主防災組織の設立推進等のソフト事業
☆北部地区へのおいらせ消防署分遣所の開設実現
☆生活関連道路整備計画に基づく町道整備
☆業者委託による除雪事業
☆町内会とのパートナーシップによる歩道除雪事業

基本方針5

「みんなが互いに助け合うまち」

☆乳幼児・子ども医療費助成事業
☆保育所耐震化のための改築等整備費助成事業
☆介護予防事業
☆認知症高齢者や高齢者虐待の総合相談支援事業
☆各地区敬老会開催支援事業
☆病院の電子内視鏡システム・エックス線CT撮影装置の本格稼働に伴う医療体制の充実
☆十和田地域広域斎苑の使用料無料化

基本方針6

「活力を創出し、住み続けることができるまち」

☆商工会プレミアム共通商品券発行補助
☆小規模事業者・経営改善利子補給
☆おいらせブランド街なかシヨップ事業
☆建設業者の異分野（農業経営）進出支援事業
☆新規卒卒者、非自発的離職者を常用雇用した事業者に対する緊急雇用奨励金
☆効率的な生産活動と農業経営の確保を図るための農業基盤整備

基本方針7

「住民主体の『まちづくり』を支える基盤づくり」

☆行政組織の機構改革の実施と戦略的、機動的な事務執行体制の整備
☆新行政経営方針の策定
☆分庁舎耐震補強事業の着手
☆庁舎整備基本計画策定事業の実施

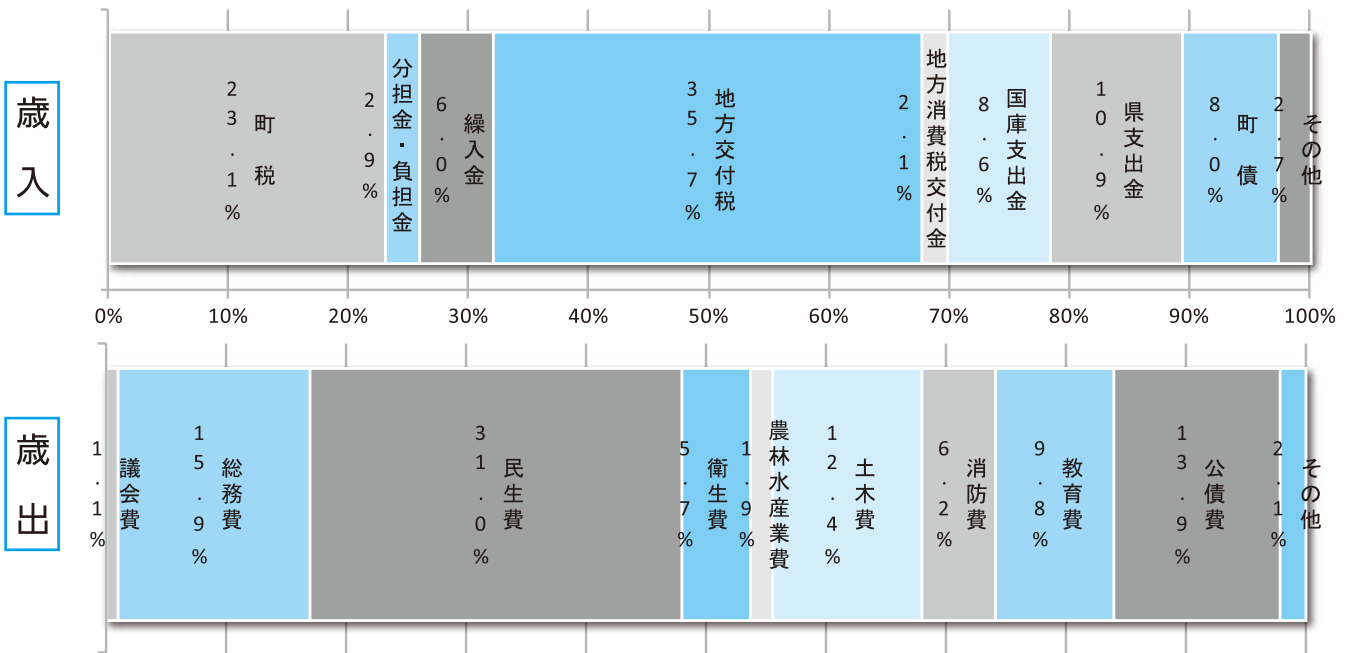


町政を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあります。多くの先人たちが幾多の困難を乗り越えながら築き上げてきた、このすばらしい町をさらに発展させ、次代に引き継いでいくことが私たちの使命として、町長は述べています。

私たち町議会も、町民のみなさまと一緒に、平成25年度の町政を注目していきたいと思っております。

一般会計は97億3970万円スタート

一般会計歳入歳出の構成比



今年度一般会計予算は、昨年に対し、4億790万円（前年比4.4%）の増額となりました。歳出では、消防費が前年比25.9%増の6億764万円、総務費が10.7%増の15億5千万円、教育費が19.0%減の9億5千310万円、農林水産業費は16.1%減の1億8千36万円となりました。

一方、歳入では、自前の主な財源である町税が、前年比23.1%増の22億4千600万円となり、国税から地方への配分金である地方交付税は0.9%増の34億8千万円となりました。

歳入に見合う財源を確保するため、繰入金として、東日本大震災復興推進基金から1億441万円を取り崩し、消防費の津波避難タワー設計及び用地購入費に充てられるほか、財政調整基金から3億4千120万円を繰り入れしての予算編成となりました。

また町の借金となる町債は、8.9%減の7億8千10万円となります。

平成25年度の主な事業内容

・分庁舎耐震補強改修工事	9800万円	・商工会プレミアム商品券発行補助金	1200万円
・公共施設整備基金積立金	1億7053万円	・町道維持補修工事	5457万円
・町民バス運行業務委託料	2308万円	・町道整備工事	2億300万円
・障害者（児）福祉各種給付費	3億4250万円	・除雪作業委託	3000万円
・後期高齢者医療療養給付費	1億5691万円	・公園管理費	8845万円
・乳幼児等医療給付費	1億158万円	・八戸広域事務組合消防費負担金	3億857万円
・保育所運営費	8億5371万円	・消防ポンプ自動車購入費	2628万円
・児童手当	4億2822万円	・津波避難タワー建設実施設計委託料	7650万円
・ひとり親家庭等医療給付費	2830万円	・生活・経済活動復興支援助成金	6100万円
・乳幼児等予防接種委託料	4841万円	・要保護及び準要保護児童生徒援助費	2191万円
・妊婦乳児健康診査委託料	2373万円	・下田小学校屋根外壁等改修工事	4059万円
・健康診査委託料	2600万円	・木ノ下小学校太陽光発電設備整備工事	5555万円
・十和田広域事務組合ごみ処理費	1億2104万円	・木ノ下小学校屋外教育環境整備工事	5300万円
・浄化槽設置整備費補助金	2947万円	・下田中学校屋外教育環境整備工事	2873万円
・雇用対策事業費	8798万円	・阿光坊古墳群保存整備工事	1668万円
・西下谷地地区農道整備工事	500万円	・町債償還元金・利子	13億5363万円

総額 168億5573万円

平成25年度一般会計・特別会計当初予算が可決

予算特別委員会の

議事を進行する

柏崎利信 委員長



3月14日、15日の2日間にわたり、議員全員で構成する予算特別委員会（柏崎利信委員長）を開会し、平成25年度おいらせ町の一般会計、7件の特別会計及び病院事業会計の審査を行いました。

予算特別委員会において、議員と町当局と活発な質疑・応答が行われた結果、15日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。

平成25年度 各会計の当初予算額

会 計 別		本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
一 般 会 計		97億3970万円	93億3180万円	4億 790万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	29億 630万円	28億3446万円	7184万円
	奨学資金貸付事業特別会計	1813万円	1851万円	▲37万円
	公共下水道事業特別会計	10億2657万円	10億 345万円	2312万円
	農業集落排水事業特別会計	1億1640万円	1億1266万円	374万円
	介護保険特別会計	18億4847万円	18億4494万円	353万円
	霊園事業特別会計	(廃止)	817万円	▲817万円
	公共用地取得事業特別会計	4150万円	4003万円	147万円
	後期高齢者医療特別会計	1億4365万円	1億4077万円	288万円
	計	61億 103万円	60億 299万円	9804万円
	(公営企業会計) 病院事業会計		10億1501万円	10億 488万円
総 計		168億5573万円	163億3967万円	5億1606万円

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。 ▲は減額です。

人権擁護委員に 苦米地さんを推薦

一人の委員の任期満了に伴い、同氏を人権擁護委員の候補者として推薦するものです。

とまべち よしたか
苦米地 善敬氏（木崎）



「人権擁護委員のあれこれ」

◆人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、もし、これが侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置を採るとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めること。

◆人権擁護委員は、市町村長が推薦した者の中から法務大臣が委嘱する。

◆人権擁護委員は無給とする。委員の任期は、3年とする。

教育委員に松林さん ―任命に同意

一人の委員の任期満了に伴い、同氏を教育委員会委員に任命する提案がされ、投票による採決の結果、賛成多数により原案のとおり任命することに同意しました。

投票結果 ・賛成 11票
・反対 4票

まつばやしまさゆき
松林 正幸氏（木ノ下）



投票による採決を行う議員

その他の審議案件

【報告】

◆平成24年度一般会計補正予算の専決処分

【議案】

- ◆町移動等円滑化のために必要な町道の構造及び特定公園施設の基準を定める条例
- ◆町公共下水道の構造の基準を定める条例
- ◆町道の構造の技術的基準を定める条例
- ◆町道に設ける道路標識に関する基準を定める条例
- ◆町営住宅等の整備基準を定める条例
- ◆町公園条例の一部改正
- ◆町営住宅条例の一部改正
- ◆町下水道条例の一部改正
- ◆町道路占用料徴収条例の一部改正
- ◆町特別会計条例の一部改正
- ◆町霊園事業財政調整基金条例の廃止
- ◆町道の路線認定
- ◆八戸地域広域ふるさと市町村基金に対する出資金の一部権利放棄



木ノ下小学校第2体育館イメージ（11月完成予定）

◆八戸地域広域市町村圏事務組合規約の変更

◆八戸市とおいらせ町との間の障害者自立支援法第15条に規定する市町村審査会の事務の委託に関する規約の変更

◆青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更

【追加議案】

◆木ノ下小学校第2体育館建築工事請負契約の締結
（全会一致で可決）

24年度3月補正予算の内容

総額で1億1139万円を減額補正

会計別		今回の補正額	補正後の合計額	歳出の主なもの
一般会計		▲1億 716万円	100億4181万円	職員用パソコン購入費 ▲1457万円 県営農道保全対策事業負担金 4446万円 町道舗装補修工事費 6500万円 被災者住宅再建支援事業費補助金 ▲3207万円 生活・経済活動復興支援助成金 ▲2146万円 東日本大震災復興推進基金積立金 4318万円
特別会計	国民健康保険特別会計	4041万円	29億1957万円	診療報酬給付費 4869万円
	奨学資金貸付事業特別会計	44万円	1615万円	奨学基金積立金 44万円
	公共下水道事業特別会計	▲385万円	10億 563万円	下水道事業負担金 ▲216万円
	農業集落排水事業特別会計	▲74万円	1億1211万円	排水処理施設維持管理委託料 ▲51万円
	介護保険特別会計	390万円	19億2461万円	居宅介護サービス給付費 361万円 施設介護サービス給付費 ▲921万円 特定入所者介護サービス費 510万円
	霊園事業特別会計	-	821万円	
	公共用地取得事業特別会計	-	4367万円	
	後期高齢者医療特別会計	34万円	1億4137万円	後期高齢者医療連合納付金 40万円
計	4049万円	61億7131万円		
(公営企業会計)病院事業会計		▲4473万円	10億3509万円	医療機器購入費 ▲1268万円
総計		▲1億1139万円	172億4821万円	

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。 ▲は減額です。

一般質問



日野口 和子 議員

いじめ問題について

質問 いじめ問題について、事件が起こるたびにメディアは責任論に終始しておりますが、本当にかんがえなければならぬことは、関係者がこの問題に真正面から対処しようとする向き合い、いじめにあっている子供の悲痛な叫びをきちんと真摯に受けとめ検証しなければならぬのではないのでしょうか。

教育長 小学校3件、中学校16件の報告があります。言葉による冷やかかし、からかい、悪口、軽くぶつかったり、叩かれたりという内容です。

質問 漠然とした答弁で残念ですが、いわゆる言葉の暴力が多いということですが、私の調べでは、集団でいじめにあっている。なぐったり、技をかけたりと日常的に行われているとのこと。何か行動を起こす必要があると思いますが、町長、この問題に対してどのような考えを持っているのかお聞かせください。

町長答弁 日野口議員の話を聞くまでは情報として把握しておらず大変おどろいています。被害者本人や家族にすれば心身共に多大な苦痛を受けているものと思います。教育委員会を初め、関係者に対して、いじめ根絶と予防に万全の対処をします。

質問 仕返しをおそれ親にも言えない、表面化させることで部活や友達関係がこじれると不安を抱えています。いじめや体罰があった場合、学校側は事実確認をし、対策をしているのか説明いただきたい。

教育長 文科省通達の手引きを用いて各校で検視、実施している。基本は初期対応と情報共有が必要と思います。一人の教員だけで対処しないよう指示している。体罰の報告は上がっていません。

質問 いじめというのは人格を否定する行為であり、本人が学校側が真摯に受けとめねばならない大きな問題で真つ先に対応すべき教職員が一人一人の子供たちと向き合える環境が大事だと思います。教職員をふやす考えはないか。

教育長 子供と向き合う教員の目と時間。学校現場における問題の解決には最も有効な手立てだとは思っている。国や県にも要望しているが財政的に実現は困難。町雇用の特別教育支援員の増員をはかっていきたい。

質問 いじめはこの学校でも起こり得るし、あると言いつつ切ったほうがいいかもしれませぬ。決して対岸の火事ではないということ。教育の基本は家庭にあります。実際多くの子供たちに接しているのは学校の先生方です。いじめは根の深いものです。先生方が子供の視点に立って向きあうしてほしい。その姿勢を子供たちに見せることによらないかと確信しています。子供たちは見えています。個々の事例を徹底して検証し、隠ぺいすることなく予兆を見逃さないいじめ根絶に向けた町民運動を展開する考えはないか。

有事の際の学校側の対応、対策について

質問 地震、津波、大雪と有事の際の学校側の対応、対策はどのようになされているのか。

教育長 町内すべての小中学校では、学校に集団で留め置き、帰宅については原則保護者引き渡しということにしています。休校措置は、安易にすべきではなく、そのせめぎ合いのところまで判断してまいります。



たんぽぽのように遅く。つくしのようにすすんずと。

一般質問



橋山 忠 議員

ごみ収集車による 死亡事故発生 再発防止策は

質問 十和田地域広域事務組合委託のごみ収集車により一川目地区の町民が、尊い人命を失う事故が発生しました。町長の所見を伺いたい。

町長答弁 亡くなられた方に心からご冥福をお祈り申し上げます。ご遺族の皆様にも心からお悔やみ申し上げます。事故が二度と起こらないように、広域事務組合と協議し、事故防止及び安全確保のためにさらなる指導の強化、対策を図ることとしています。

質問 高齢者のごみ出しには何時も危険が伴うが、対策はありますか。

環境保健課長 これまでの対策を強化することが必要と思えます。

質問 事故は12月12日に発生したが、12月19日の行政推進委員会で情報提供と注意呼びかけましたか。

環境保健課長 情報提供と注意の呼びかけは行っておりません。

質問 広域事務組合では、委託業者を処罰したと聞いておりますが、把握していますか。

環境保健課長 昨年12月28日から本年4月27日まで指名停止とし、この指名停止により、来年度の委託入札に指名されません。

質問 遺族のショックは計り知れないと思う。心のケアは、**環境保健課長** 特に行っていません。

質問 専門の心理カウンセリングのできる人材を育成し、弱い人の立場になって町政を行うことを要望します。

町の史跡は

質問 県教育委員会が申請中の縄文遺跡群世界遺産登録の中に、町の史跡が入らないのはなぜですか。

教育長 縄文遺跡群の構成要素は、縄文時代の国史跡18ヶ所であり、国史跡の阿光坊古墳群は時代が異なり、残念ながら登録活動には加われません。

質問 阿光坊古墳群は平成22年に短長期計画を策定したが、計画どおりですか。

教育長 文化庁の補助金を活用し、平成26年度の史跡公園完成を目指して、概ね計画どおりに整備が進んでいます。

質問 阿光坊の国道沿いで手づくり資料館を運営するボランティアグループが居るが、そのそばに、史跡公園完成予想大型看板を立て、アピールをし集客を図るべきでは。

生涯学習課長 非常にいい提案。今後設置していく方向で検討したいと思えます。

質問 平成26年度には、ある程度の完成すること。町

民の夢を大きく膨らませるものです。内外に大いにPRをすることを要望します。

町の公園整備と 集客は

質問 下田公園、間木堤の西側休耕田を公園として整備する考えは。

町長答弁 昨年3月、町策定の「おいらせ町観光振興計画」

では、間木堤の水辺環境の整備と、水生動植物の生態系の回復に努めることで、美しい景観づくりと通年型の観光振興を図る「美しい里山プロジェクト長期ビジョン」を定めたところです。その事業内容に西側の休耕田も含まれておりますが、現在具体的な青写真を描くには至っておりません。新年度には、地元住民や来園者、専門家を交えて「里山フォーラム」を開催し整備の有無を検討したいと考えています。

質問 過去において、農地法で断念したと聞けが、用地変更は可能ですか。

商工観光課長 公園とする目的や理由が明確であれば、現在は不可能ではないと思えます。

質問 間木堤の新設駐車場と白鳥デーにかわるイベントを開催する考えはありませんか。

町長答弁 現時点では、駐車場イベントを行う目的と意義、必要性、その効果が見えないことから、イベントの開催は考えていません。

質問 間木堤新設駐車場で、軽トラック市を開催する考えは。

町長答弁 相応の目的と経済への波及効果の策定が必要のため、現在、下田公園での軽トラック市は、考えておりません。



今期の間木堤（白鳥と町民のふれあい）

一般質問



平野 敏彦 議員

町政運営の 成果について

質問 町長が目指すまちづくり5本の柱の公約内容と、実施状況について。

町長 公約では、町政推進の為に5本の柱と13の達成目標と36の取り組み事項で構成されており、29の取り組み事項が目に見えて達成、7つの事項が検討、未実施となっております。

質問 検討中の4項目と未実施3項目の達成見込みは。

町長 任期最終日までには達成したい、努力する意気込みでおります。

質問 町長が掲げた公約、総合計画、新町の建設計画が25年度予算に反映されている点は。

財政課長 総合計画を実施するため、実施計画のメニューを優先に予算編成しております。

質問 未実施3項目のうち外部監査の導入について、どのように検討されたのか。

副町長 指摘された段階で、総務課に下ろし、研究しているところです。町長からの指示ですのでやっていきたいと思っております。

質問 町長の任期中に導入する考えは。

町長 1年任期はありますのでよく調べさせて、町民の御期待に応えるよう努力します。

質問 公約の達成見込みについて。

町長 自分なりに3年間の達成感があるのかなと思う点と、震災が発生し、人命に関わる部分を重点的に取り組みました。公約に掲げた部分、各課で進めてくれるという思いでおります。

任期最終年の 課題について

質問 津波避難タワーの建設について

地域住民の声がどのように反映されたのか、津波災害に対する基本は、高台移転・避難道路の新設・夜間の対応・冬期間の対応・寝たきり世帯の対応・高齢者世帯への対応・町内のマンパワーの把握・避難の方法・地域住民との連携にあると思います。地域住民とどのように話し合いがされるのか。

防災安全推進室長 震災復興

地域づくり計画を補完する意味で復興地域づくり検討会を立ち上げたところです。この3・11で勉強したことは、四季、24時間、昼夜、そして365日、行政が主体的に町民は守れないことも勉強させていたできました。

質問 いちよう公園体育館は、一時避難所として指定になってないのはなぜか。

防災安全推進室長 いちよう公園体育館は収容避難施設と位置づけになります。

質問 収容避難施設と言うのであれば自家発電施設の整備、暖房対策をきちんとやるべきでは。

町長 ご指摘のとおりだと思います。徐々にではありませんが設置は進むものと思っております。

質問 津波避難タワーの建設予定地について、海の見えない所が恐怖感を受けないで避難した人が安心ではないか。

防災安全推進室長 タワーの建設地については川口・堀切川地区を中心に検討を進めております。

質問 町長の指導力の発揮について

社会福祉協議会について、町長は補助金の凍結を解除しております。その後、町に報告が全然ないのか。

介護福祉課長 理事会等が、先般行われ、内容につきましては警察のほうに委ねている、民事訴訟に入ると言う2件でございます。

質問 社協の役員が責任をことう形を負います、補填もこうしますと町に報告すべきだと思います。社協から確認をして次の機会に報告願いたい。

町長の公約の中に、職員の手持てる能力の最大限活用とあります。4月1日から町の組織が変わり、事務量の増減が出ている中で、管理職手当の検討がなされたのか。

総務課長 管理職手当の増減については、現在のところ検討はしておりません。

質問 当町は総務課長が4万3千円、他の課長が3万3千円となっており、六戸町は3万円となっております。見直しをする考えは。

副町長 今回の組織再編の中で、私の意識の中では、今早急にそれを削らなければならぬと言いたいとは思っていません。

質問 最後の質問になります。町長は自分の思いを二期目も続けて達成したいという思いがあるか

町長 今年1年考えながら、次に向かっどうすればいいのか、これからの成果、評価あるいは実績、そう言うものを見てもらって判断していただき、あるいは判断しなければならぬという思いがしております。

一般質問



馬場 正治 議員

町長寿祝金 条例について

質問 町の長寿祝金条例（100歳で30万円）は、支給対象者を「毎年4月1日から翌年3月31日までに100歳に達する者」と規定しているが、これに従えば4月1日以降生存している翌年3月31日までに100歳に達する者は、満99歳で請求できると解釈するが間違いないか。

町長答弁 現行の条例では、100歳を迎えた方に対して祝金をお支払いすることになっているため、満99歳では支給できないと考えています。

質問 現在の支給方法を担当課に確認したところ、毎年6月頃にその年度内（翌年3月31日まで）に100歳に達する方を住民基本台帳から拾い出してその年内に支給しているため、拾い出した時点で生存していれば99歳で支給しているとのことだったが、実際には対象者拾い出しの時点（6月頃）で生存している100歳の者、または99歳で年度内に100歳になる予定の者には100歳到達前であっても支給されており、拾い出し前に99歳で死亡し住民基本台帳に載っていない者は支給されていない。

平成17年11月に全世帯に配布された「百石・下田合併協議会だより第12号」には、異なっていた両町の長寿祝金制度の最終調整結果について「100歳到達者のみ30万円支給する」と決定したことが載っており、合併後、どのような経緯で変更されたのか担当課へ問い合わせたが、回答がないのはなぜか。

町長答弁 合併後の長寿祝金支給状況は、平成18年度から24年度までで15名の方が支給されており、そのうち平成19年度と21年度の各一名、合計

二名には99歳で死亡した後に支給されています。現行の条例では、対象者拾い出しや支給の期日が指定されているため、ご指摘のような公平性に欠けることが生じてしまうものと思われれます。

また合併協定の内容については、調査した結果合併協議会で決定されたとおり新町へ引き継がれたものと理解しております。

質問 長寿祝金を支給された方のうち、100歳到達前に死亡した方々には返還を求めたのか。

介護福祉課長 返還の請求はしていません。

質問 では、合併協定に沿わない事務事業が行われたと理解してよいか。

介護福祉課長 現行の祝金条例は、「年度内に100歳に達する者に贈る」と「100歳到達者に贈る」の二通りの解釈があり、運用上、敬老会の表彰対象と同じように年度内に100歳到達する方々に対して、一括して9月にお支払いしてきたのが現状ですが、運用上の手違いだったと感じています。

質問 毎年、敬老会に合わせるため対象者を各年度でくくったところに誤りがあったと推察するが、人の年齢は年度に関係なく、100歳まで生存した方に贈るのが長寿祝金の趣旨と考える。

町長も認めたとおり不公平が生じる現行条例について、分かりやすく「100歳に到達した者のみ」と明確に限定するのが、最も公平で趣旨に沿うものと考えますが、速やかに条例を改正する考えはないか。

町長答弁 これまで適正さを欠く運用となっていたため、祝金を支給する時期を100歳到達後と明確に規定した規則を3月中旬に整備し、新年度から適用させたいと考えています。

その他の 主な質問内容

○職員との接遇（来庁者に対する応対）と自己啓発のあり方について、町の考えを質しました。

百石・下田合併協議会の調整内容

	現 況		具体的な調整方法	
	長寿祝金	支給日	決定済の内容	変更後の内容
百石町	米寿 30,000円 白寿 300,000円	誕生日	合併時に再編する。 ・100歳到達者のみ 30万円支給する。	合併時に再編する。 ・100歳到達者のみ 30万円支給する。 ・ただし、平成17年度中は現行どおりとする。
下田町	喜寿 20,000円 米寿 25,000円 白寿 30,000円 100歳到達者 1,000,000円	喜寿、米寿、白寿は5月、100歳到達者は誕生日から14日以内		

※「百石・下田合併協議会だより（第12号）」より

一般質問



吉村 敏文 議員

町復興関連 事業について

質問 先日説明がありました、復興に関する避難計画が出されているが、避難地域の住民に対し、計画内容を説明をする場を設けるつもりは。

町長答弁 復興地域づくり計画は、町広報紙やホームページ、地区懇談会の開催など、説明の機会を設けていきたいと思っております。

質問 避難タワーとか松原の階段、有料道路に避難という部分で深沢、一川目、二川目、これに対するハード的な計画は盛り込まれていないが、この部分はどうか。

防災安全推進室長 既存の東西に伸びる道路がございますので、方法をご説明を申し上げます、訓練等で定着化を図りたいと思っております。

質問 どの道路を使って避難するとかどこへ避難するか。計画的な場所設定とかされていないのでしょうか。あくまでも住民の方がわかるようなものでなかったら意味をなさないと思えますが。

防災安全推進室長 具体的にどの道路を使ってどんな避難方法が最適な、避難目標地点の活用方法などについても、今後地区へ出向いて説明の機会を設け、お知らせしたいと考えています。

質問 以前から取り上げている338号の整備であります。通学路、老人の方々が安心して通れるような道路と歩道、この避難道としての位置づけ、西側に逃げるといったときには、あの道路はどうしても整備が必要と思うが。

地域整備課長 国道338号の歩道整備につきましては、復興庁八戸事務所、それから県の復興局、それから県の担当課、相当な打ち合わせを行いました。結果、平成25年度事業に

向けて要望済みであることで確認をしております。

質問 避難タワーの建設場所の選定方法はどのように行うか。

町長答弁 建設場所はおのずと避難困難区域で、かつ浸水区域内となります。さらに、一団の広大な土地を確保できることも必要であります。現時点では、復興地域づくり計画の調査・検討の結果、奥入瀬川と明神川に挟まれた地域で川口・堀切川周辺を考えています。

防災安全推進室長 3・11の浸水地域内ということで、今建設場所を想定しています。今回は、あくまでも3・11を基準に構築した考え方とご理解をいただければと思います。

質問 前から数人の議員から質問が出ておりますが、洋光台、出ておりますが、洋光台近辺、あの高いところはこの浸水地域に入っていないところ、そこに建てる、震災がないときは普段のときはスポーツ施設として使用する。そういうふうなものの捉え方も一つの考え方と思うが。

町長答弁 全く私も思いは同じです。現時点ではなかなか

タワーを取り消して別な高台にドームなり避難施設を欲しいなという思いで指示はしたんですけども、なかなか結論が出ないのが現状であります。

質問 今後また3・11のような災害が発生した場合、町防災本部会議の設置方法、構成どのようなお考えを持っているのか。

町長答弁 町災害対策本部の組織及び設置方法等については、町地域防災計画に定められており、町長を本部長、副町長、教育長、病院長を副本部長、役場各課等の長や消防団長、八戸広域消防本部消防長、八戸圏域水道企業団副企業長が本部長になるとされており、役場全体で当たることになっております。

質問 2年前の災害のとき、防災本部を設置したわけですが、各課横断的にそれを経験をした人、そういう人が集まらないと、どうしても業務が遅くなる。いち早くその対処に当たるといのが一番だと思いが。

副町長 各課横断で物事に対処する体制づくりが大事だ。役場として最高の力を発揮で

きる体制をつくるつもりです。

おいらせ町北部への 分遣所設置について

質問 町の人口の約40%を占める北部住民からの要望もあり設置すると理解しておりますが、搬送先の医療機関についての検討はどのようになっているのか。

町長答弁 八戸広域消防本部から確認したところ、現状で分遣所新設に伴う病院の協議は必要なく、傷病者の症状により、通院歴、家族の希望など、総合的に判断をして、病院と協議し、最適な搬送方法、受け入れ病院を選択しているということでありました。

質問 三沢病院のほうで受け入れ可能ということであれば、地元住民の方が最大限、恩恵を受けるような施設にしてもらいたい。行政とすればその三沢市との協議も並行して進めてもらいたい。

防災安全推進室長 三沢病院も含めて、最短で最適な方法、三沢であれ十和田であれ、最適な選択をして搬送するということです。

平成24年度 おいらせ町議会議長の交際費を公表

支払日	種別	件名	金額(円)
4月14日	会費	おいらせ町子ども会育成連合会総会	1,000
4月22日	会費	木内々小学校区地域づくり協議会設立総会	1,000
4月26日	御礼	町議会運営委員会視察研修のお土産	3,150
5月8日	会費	おいらせ町連合PTA総会	2,000
5月26日	御祝	日本ファイン・ボール協会総会 日本酒	3,600
6月8日	会費	おいらせ町物産振興会定例総会	2,000
6月25日	会費	三沢地区連合防犯協会総会	4,000
6月25日	弔慰	元下田町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
6月27日	会費	おいらせ町防犯協会定例総会	2,000
7月8日	会費	町選挙管理委員長藍綬褒章受章祝賀会	6,000
7月11日	会費	八戸市おいらせ会総会	5,000
7月28日	会費	元県議旭日中綬章・青森県褒賞受章祝賀会	10,000
8月5日	会費	定置船第二十一新宝丸竣工式	5,000
8月18日	会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
9月21日	協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
9月23日	弔慰	元下田町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
10月1日	弔慰	元おいらせ町議会議員葬儀 生花・香典	25,000
10月24日	御礼	町総務文教常任委員会研修視察のお土産	7,140
10月24日	御礼	町産業民生常任委員会研修視察のお土産	3,570
11月14日	会費	町村議会議長会全国大会	3,000
12月1日	会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
12月8日	会費	和太鼓フェスティバル歓迎会	4,000
12月15日	会費	社会福祉法人奥入瀬会・学校法人鳳学園合同忘年会	4,000
1月6日	御祝	おいらせ町消防団出初式(19分団)	35,120
1月27日	会費	おいらせ町消防団副団長藍綬褒章受章祝賀会	5,000
2月21日	会費	平成25年度自衛隊入隊予定者激励会	4,000
2月24日	会費	下田第3分団発足100周年記念祝賀会	5,000
3月31日	会費	百石第8分団ポンプ車配置式	5,000
	会費	上北郡町村議会議長会定例会(4回)	12,000
合計		32件	226,580

平成25年2月25日、産業民生常任委員会(柏崎利信委員長)を開催し、調査を行いました。

町地域整備課の立ち会いのもと、平成25年度に整備計画がされている16路線の生活道路や平成24年度に町道認定された6路線、明神川改修計

画の概要、災害公営住宅整備事業の進捗状況・入居者の状況、除雪対策事業委託費などの説明を詳細に受けた後、現地調査を行いました。



災害公営住宅を視察する委員

編集後記

厳しい冬も終わりを告げ、黒土に露のとうが顔をのぞかせて、野山に生命の息吹が満ち溢れる春となりました。
農家の皆様も、又、一年を占う躍動の季節を迎えて、心弾ませておられることと思います。

四月一日から、平成25年度がスタート致しました。私も二度の予算議会を体験させて頂き、心新たに居る所です。新政権のアベノミクスに効果を期待したいところですが、現実にはPPP問題等、諸問題が山積し、逆に厳しさは増すと考えられます。そこで、町の財政は堅実であるべきと願うが、議会には多種多様な意見があります。でも、議員皆の目標は同じです。
町のため町民のために、全力を尽くすことです。皆様、是非傍聴においで下さい。



議会広報編集副委員長

梶山 忠 記

第2回定例会のお知らせ

平成25年6月6日(木)から開会予定
会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

●問合せ 議会事務局(本庁舎3階)

電話 0178(56)2112